

7. 畜産関係新技術発表会

日時：2012年3月1日 於：札幌 北農ビル

主催：北海道畜産技術連盟

2. 北海道におけるブラウンスイス種の特性 (道総研根釧農試)

ブラウンスイスの発育はホルスタインと同等の体格に至るが、晩熟型。肉生産は乳用種と同等の産肉性があり、放牧・トウモロコシサイレージ主体の肥育が可能。赤肉生産タイプ、牛肉フレーバーはすくなく、脂肪交雑は乳用種より高いことはない。

3. 新しい国産濃厚飼料“イアコーンサイレージ”の生産と利用 (北農研センター)

イアコーンサイレージは自走式フォーレージハーベスタのアタッチメントをスナッパヘッドに交換することでホールクロップサイレージと同様の機械体系で収穫・調製が可能。製品のDM%は60.6%，でんぷん含量55.1%，TDN含量79.6%，十勝中央部での実収量は787-1041kgDM/10a，生産コストは¥51/TDNkgという成績。

8. トウモロコシサイレージによる乳雄肥育の可能性 (ホクレン畜産技術実証センター)

トウモロコシサイレージを給与TDNの20,40%置換して7ヵ月齢から20ヵ月齢まで肥育し産肉性を検討。増体成績は変わらず、枝肉格付成績が低下するほどの影響はないものの、しまり、脂肪色などで格付評価の細部での肉質評価に劣る可能性が残る結果となった。生産費は40%置換すると1頭当たり¥20,000の飼料費節減ができた。一方、脂肪中のβカロチン含量は慣行区0.005mg/100gに対して0.027-0.028mg/100gへの増加が認められた。